



紀宝町

# 議会だより

第 30 号

平成26年 6月1日 発行



どんなことが

書いてあるかな？

読んでみよう

## 議 会 日 誌

平成 26 年 1 月 ~ 3 月

- |        |                           |     |  |
|--------|---------------------------|-----|--|
| 1月 27日 | 三重県町村議会議長会理事会 (津市)        | 14日 | 災害復興対策特別委員会  |
| 29日    | 熊野川流域対策連合会理事会及び臨時総会 (新宮市) | 16日 | 自衛隊入隊入校予定者激励会 (津市)                                 |
| 2月 3日  | 議会運営委員会                   | 17日 | 議会運営委員会  |
| 6日     | 紀南病院組合臨時議会 (御浜町)          |     | 第1回定例会 第2日目  |
| 20日    | 教育民生常任委員会                 | 18日 | 第1回定例会 第3日目  |
|        | 紀南介護保険広域連合議会定例会 (熊野市)     | 19日 | 第1回定例会 第4日目  |
| 21日    | 紀南環境衛生施設事務組合議会定例会 (新宮市)   | 23日 | 世界文化遺産川の参詣道「熊野川」景観保護を求める要望活動 (国土交通省・文部科学省) [24日まで] |
| 22日    | 子ども議会                     | 25日 | 国道42号歩道完成式典  |
| 24日    | 議会運営委員会                   | 26日 | 東紀州農業共済事務組合定例会 (熊野市)                               |
|        | 三重県町村議会議長会理事会 (津市)        | 27日 | 紀南病院組合議会定例会 (御浜町)                                  |
| 26日    | 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (津市)  |     | 南牟婁清掃施設組合議会定例会 (御浜町)                               |
| 27日    | 全員協議会                     |     | 紀南社会福祉施設組合議会定例会他 (御浜町)                             |
|        | 議会運営委員会                   |     | 熊野川河口に橋を架ける会臨時理事会 (新宮市)                            |
|        | 熊野川流域対策特別委員会              | 30日 | 紀勢自動車道 (海山ICから紀伊長島IC) 開通式                          |
|        | 港湾・井田海岸浸食対策特別委員会          | 31日 | 紀宝町保健対策協議会   |
| 3月 5日  | 第1回定例会 第1日目               |     |  |

# 3月定例会 一般質問

(要約)

## 町長の政治姿勢

・町長の政治姿勢について

市川 潔 議員



平成26年第1回紀宝町議会定例会は3月5日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、次いで、町長から、新年度大綱説明及び各般についての行政報告がありました。その後、議案審議に入り、意見書、監査委員選任、教育委員会委員任命、条例の一部改正、平成25年度補正予算など15件の議案を原案とおり可決しました。第2日目の17日、第3日目の18日には、一般質問が行われ9人の議員が、質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。第4日目の19日には、平成26年度一般会計予算と特別会計予算(6会計)、人権擁護委員の推薦、意見書など13件の議案を原案とおり可決し、閉会しました。

**議員**  
再選後の紀宝町に対する思いをお聞かせください。

**町長**  
これからの4年間における町づくりにつきましては、人の命が一番。子どもは町の宝物。高齢者は町の誇りを基本姿勢としながら、選挙の公約に掲げてございます。手綱を緩めることなく、行財政改革を推進する。高校生の医療費助成など、教育、子育て、環境の充実、ゼロ歳児保育の実施。高速道路の南進を活かした産業振興と雇用拡大の推進。住民との連携による更なる福祉サービスの向上。復旧復興、防災減災、河口大橋の

早期完成など、インフラ整備の促進。若い世代が地域で活躍できる環境整備の推進等に努力させていただきます。

**議員**  
今お聞かせいただきまして、よく理解納得するところでございますが、若い世代が地域で活躍できる環境整備の推進など、人の命が一番。子どもは町の宝物。高齢者は町の誇りを基本というなかで、去年の秋に東北の震災の地を視察したなかでも、人の命が一番という項目は、当たり前のことなんです。町政全般において、本当に基本だと思います。人の命が一番という町長の思いをお聞かせください。

い。

**町長**

3・11、あるいはその年の9・4、紀伊半島の大水害のなかで、我々も非常に大きな災害に遭遇したわけで、そういったなかで、いろいろと考えますと、やはり人の命が一番大切なことだと改めて認識したところでございます。そういった状況のなかで、やはり、一人でも多くの皆さま方が一人の犠牲者もださないと強い気持ちを持って、これからの防災減災に努めていく、このことが一番基本だと思います。

**議員**  
町長の思いを話していただき

きました。それを受けて各担当課のお考えは。

**総務担当理事**

行財政改革や防災減災の取り組みなど、引き続き強く推進していく所存でございます。これからも堅実な財政運営を図ると共に、南海トラフを震源とする巨大地震や紀伊半島大水害などの風水害から命を守るための防災減災活動に取り組み、住民の皆さまの安全と安心を確保してまいります。

**会計管理者**

各課で行われる事業に対して、完了した部分の精算、支払等について、誠実に及び柔軟に対応していきたいと思っております。

**税務住民課長**

今後ともしっかりと税金を正確に把握しまして、税務住民課の業務を進めてまいります。平成26年度からの納付者の方々の利便性を考え、コンビニエンスストアでの納付など、しっかりと取り組んでまいりますと共に、住民サービスを念頭に業務を行ってまいります。

**環境衛生課長**

住民の皆さまが心豊かで安

心して暮らせる町となるよう、環境の整備に努めてまいります。水道事業におきましても、住民サービスの向上を図り、納付者の利便性を考えまして、水道使用料の納付がコンビニエンスストアで納付ができませんよう準備を進めているところでございます。

#### 企画調整課長

高速道路の南進を活かした産業振興と雇用拡大の推進等が特記事項として上げられております。これから町長の意向を伺いながら町民の皆さまが安心して暮らせる町、誇りと愛着を持てる町づくりの実現に向けて課内職員一同、頑張つて努めてまいりたいと思っております。

#### 教育課長

学力向上を図るソフト事業や、安全安心を確保するハード事業を中心とした教育環境の充実を図る取り組みを進めていきたいと考えております。また引き続き防災教育を推進していくと共に、学校施設の非構造部材の耐震化を図っていくことによって、児童生徒の安全安心を図っていき

#### 福祉課長

町長答弁にもございましたが、人の命が一番、子どもは町の宝物。高齢者は町の誇りを基本におきながら、子どもを安心して、生み育てることが出来る町づくり。いつまでも地域で暮らせる元気と生き甲斐を育む町づくりの実現に向け、各施策について尽力してまいりたいと考えております。

#### 産業建設課長

町長が掲げております、6つの基本目標を達成するため、農林水産商工業振興のための基盤整備の促進、地場産品のブランド化の推進。あらゆる基盤整備、12号台風からの早期復旧復興、河口大橋の早期着手など、必要な情報と適切な事業展開を進めてまいりたいと考えております。

#### 健康づくり推進課長

町民への健康づくり支援とサポートをおこない、子どもから大人までが健康で生き生きと安心して、元気に暮らせることを目指して、体の健康や心の健康、栄養問題や運動機能向上などの専門的な指導や、医療、福祉、町機関との連携を図りながら健康づくりの施策推進を誠心誠意おこな

ってまいりたいと考えております。

#### 議員

町長の思いと各担当課から、町長の思いに沿った実行する方向性の考え方を聞かせていただき、私一議員としては、大変心強く聞かせていただきました。



榎本 健治議員

- ・南海トラフ地震対策特別措置法について
- ・議会図書室設置について
- ・大綱説明・諸報告について

### 南海トラフ地震対策特別措置法

#### 議員

太平洋沿岸を中心に茨城県から沖縄県までの30都府県、705市町村を国の財政支援

を受ける推進地域・特別強化地域として、指定候補となっておりますが、紀宝町は推進地域・特別強化地域のどちらの指定候補になるのか。

#### 総務担当理事

南海トラフ地震が発生した場合に、著しい地震災害が生ずるおそれがある地域を「南海トラフ地震防災対策推進地域」、特に著しい津波災害が生じる恐れがある地域を「南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域」となっている。紀宝町について、指定基準に照らし合わせると「特別強化地域」に指定されるものと思われ

#### 議員

両地域の指定をめぐっては国からの財政支援、これは避難施設や避難経路の整備は国が3分の2を助成。補助を望む自治体もあるが、危険な自治体というイメージを懸念する声もあります。政府は指定候補自治体の意向を踏まえて、今月3月末までに意向調査をし、国の防災対策推進基本計画を策定する方針であるが、紀宝町のお考えをお聞かせください。

#### 総務担当理事

議員もご指摘されておりますように、対象となる自治体によりましては、マイナスのイメージを懸念する声もあるものと思いますが、東北での大震災を見ておきますと、大災害に備えた町づくりを進める必要があるものと考えており、人の命が一番ということを基本に、人の命を守る町づくりに取り組んでまいりたい。南海トラフ地震対策特別措置法により、避難路などの整備に対する、国の補助率が嵩上げされることは、財政的に非常にありがたいことであるため、「特別強化地域」の指定に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。

#### 議員

私も同様の考えで安全に取り組んでいる町として、堂々と胸を張って指定を受けるべきだと思えます。今後、自主防災組織の意見を吸い上げて反映していける計画にしたい。安全には科学的根拠が必要で、安心には信頼や信用が必要だと思えますので、今後の対策をよろしくお願いを申し上げます。

## 議会図書室設置

議員

紀宝町条例のなかにも議会図書室の設置について記載をされておりませんが、現在図書室はありません。今後どのように整備していくのか。

議会事務局長

紀宝町議会事務局設置条例施行規則の中で、議会の事務局の事務分掌として「議会図書室における図書の整理及び保管に関すること」とあります。今後、議員の皆様の研究に、役立つためには、どのような方法が良いのか議員の皆さまとご相談しながら設置に向けてまいりたいと思いません。

## 大綱説明・諸報告

議員

行政の責務として今後の備蓄品の整備という項目がございますが、昨年度、特に鶴殿小学校では地域の自主防、学校、行政と連携して、備蓄品

を学校内に置かせていただくことが可能になりました。しかし、高台の避難所として、まだまだ足りないのが現状でございます。学校側も積極的に空き教室を備蓄品置き場として、活用させていただける意向のなかで、今年度の備蓄品に関する計画と各学校での状況は。

特別参与

今、順次整備を進めていて、とりあえず毛布30枚等を配置させていただいておるところです。今回のように鶴殿小学校については積極的にご配慮をいただいたわけですが、他にも、他の、学校につきましては、まだ空き教室等の検討はさせていただいておりませんので、学校への配置等は十分ではございませんが、各地区の自主防災組織の倉庫等に配備しています。今後は学校のご理解をいただければ、避難所になることから空きスペースがあれば、備蓄をしていきたいと思えます。

議員

備蓄品のなかで、特に鶴殿小学校では、合併前までは、自校方式で給食を作っていたランチルームが存在します。

避難所指定がされているなかで、避難生活がはじまると給食施設があるランチルームでは、炊き出しが可能である。いざというときに備えて、ランチルームの給食施設の点検管理状況や、給食施設の備品については、現在どのようになっておりますか。

教育課長

正式な点検までは至っていないのが現状でございます。今後、その点検方法等も含めて、検討を進めてまいりたいと考えております。備品等につきましても、また内容を再度精査しまして、必要な対策を講じていきたいというふうに考えております。

議員

次に横断的な相談支援体制づくりについて、現在紀宝町では通園めだかが開所されて、早期発見・そして早期養育ができる環境が整えられております。厚生労働省管轄、福祉課である保育所。そして文部科学省管轄の教育課である小学校と、管轄の違いがあるのかもしれませんが、横断的な体制の仕組みづくりは、どのようになっておりますか。

教育課長

相談支援等を行う体制を整備していくために、特別支援教育連絡協議会を設置しています。議員ご指摘の横断的な取り組みにつきましても、より良い支援体制が充実できるよう進めていきたいと考えています。

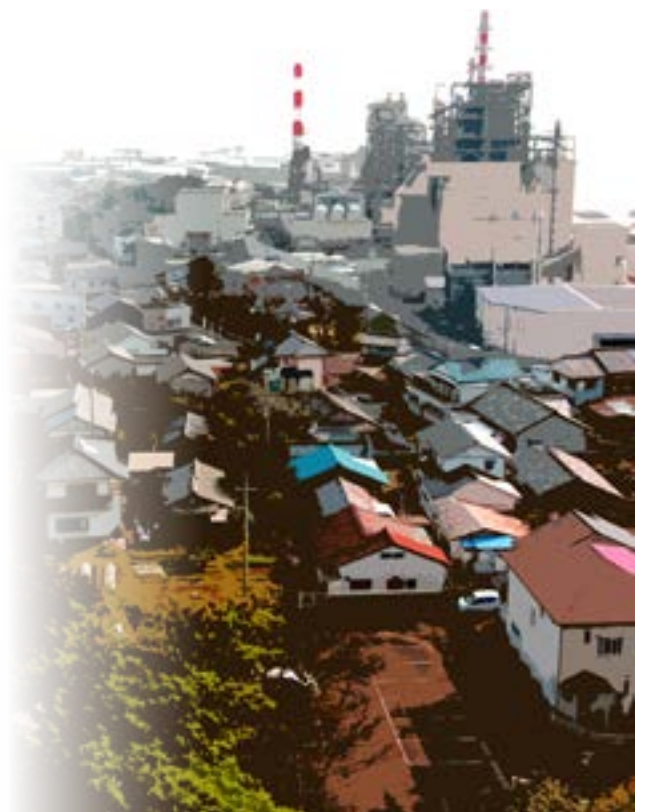
福祉課長

現在のところ子育て支援センターを中心に関係機関と連携を取りながら、横断的に相談体制を取っているところがございますけれども、子どもの成長に合わせて、相談内容も違ってくる

こともございます。議員ご指摘の部分については、これは真摯に受け止めて、教育委員会、それから健康づくり推進課と連携をしっかりとって、前向きに対応していきたいというふうに思っております。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/ipan.htm>)





孝一議員

- ・水道事業について
- ・公園広場の整備について
- ・ふるさと納税について

## 水道事業

### 議員

この2年余り、災害復旧復興、防災対策の意識が高く、他の行政政策について、少し霞んでしまっているように私は思っています。紀宝町後期基本計画に基づく施策から一年が経過し、不安、疑問の観点から、質問します。水道施設は、昭和54年度から稼働し、老朽化も進み安定した飲料水の供給を図る為、資金面も含め喫緊な抜本的改革が必要と思われる。飲料水確保

は、生活の必需品であり、町の財産ですから、私達には次世代の人に引き継ぐ使命があり、私達に課せられた課題だと思えます。今迄に健全経営を図るため、事務の効率化、人員削減等行っていると思いますが、基金も枯渇し、現在でも、一般会計から3000万円程繰り入れて、細々と繋いでいるのが現状で、もう限界に見えます。

### 環境衛生課長

給水人口の減少により料金の収入の増加が見込めない中、平成25年度まで事業を展開してまいりましたが、現在の状況から推移しますと、平成27年度におきましては、資金不足のため、当初予算が編成できない見込みとなっております。

### 議員

24年度の水道事業企業債の決算では、未償還残高が18億3千万となっております。現実には、企業債償還金終期を迎えるのは、早くも平成28年度から返済は少額に過ぎず、今後すぐに企業債が大きく減っていくことはありません。毎年一億円借り入れし、一億円償還することになり、

利息分は補助金から出す事になり、大きな補修、老朽配管の取り換え等発生すれば、借金が増える事になります。このような状態を世間では、何々操業というと思います。行政として、有収水量率の向上、未収金の回収に努めて下さい。これらの事柄を勘案し、今後の水道事業全体のシュミレーションを立案して欲しいと思います。また、広報きほう等で住民に現状を説明し、理解して貰う事が大切ではないでしょうか。

### 環境衛生課長

全国的に、給水人口の減少による収入減や、施設の改修、更新費用の増加に伴い、水道料金の値上げを余儀なくされているのが現状です。広報きほう10月号でありますように、厳しい水道会計の現状や、施設の老朽化、耐震化等、抱えて



いる問題を住民の皆様には周知して参りたいと考えています。今後とも安全で安心な水道水をお届けして行く為、事業環境の変化や、経営課題を踏まえて事業運営の指針となる長期的な事業計画、財政計画のシュミレーションを行った上で、具体的な数字を示したいと考えております。

### 議員

私は、水道事業は特別会計ですから、主旨から言えば本来は水道料金で賄うことだと思えますし、不足金は、補助金を増額するだけでは、何の解決にも立たないと思えます。また、税の不平等に成りかねません。消費税率のアップ、様々な値上げが見込まれていますが、飲料水を次世代に引き継ぐ為にも、安定した水道事業に近づくと、急激なまでもなく水道料金の改定を急ぐべきだと思います。また、このような大きな共通課題について

は、住民、議会と共に、共通認識を持って解決の方向へ進める事が大切ではないでしょうか。

### 町長

私も大変危機感を持ちながら、水道事業の運営に当たって行かなければならないと思っています。今日まで鋭意努力し延命をさせてきた訳ですが、丸々操業の状況も逸脱していかなければ、民間的には運営が成り立たない状況に近づいています。町民の皆様方に危機的な状況であるというところを、ご理解いただく中、運営に向けて努力してまいります。

## 公園広場の整備

### 議員

紀宝バイパス道路が開通し、あらゆる面に利益効果が見れています。片方では、子ども達の遊び場がなくなった側面もあり、バイパストンネル東口周辺では、住民の憩いの場としていた所もなくなっています。この辺りは、町道

田代七滝線の「フラワーロード」入り口として住民に親しまれ、散歩コースでもありません。平成28年度設置目標の19箇所の一つとして、バイパス東口入口左側に設置して貰えませんか。

### 税務住民課長

現状値17箇所を、平成28年度目標値19箇所に整備するとしています。子ども達の遊び場、住民の憩いの場として身近な公園確保に取り組みます。心地よい公園にする為に地域住民のご意見を反映し、限られた財源の中で、慎重に検討させて頂きたいと思えます。

### 議員

意外と少ないと思います。

「ふるさと納税」の呼びかけを積極的に行いたいと思いません。平成24年度「ふるさと納税」を納めた人、全国で74万人余り、金額にして649億円、三重県では納めた人1万人余り、金額5億5千万円に上がっています。もう少し積極的にPRを含め活動してみればと思いますが。

### 税務住民課長

ホームページのPRのみとなっています。地元出身者への声掛け、パンフレット配布等、今後PR活動を強化し進めてまいります。

### 議員

何時かは結果に結び付くことを信じ、積極的な活動、効果的な対応を研究してみれば、いかがですか。

- ① 出身者やゆかりのある人へ直接PRする。
- ② ホームページや広報誌などでPRする。
- ③ 特産品、記念品等の送付。観光資源のPRや、特産品のリピーターを増やす効果も期待できます。

### 税務住民課長

今後、関係機関とも相談しながら検討していきたいと思えます。

※その他、「政治姿勢」について質問がありました。



西村 喜久男 議員

- ・犠牲者ゼロへの取り組みについて
- ・県道の危険箇所対策について
- ・河川の堆積土砂対策と維持管理について

他

## 犠牲者ゼロへの取り組み

### 議員

歩行困難の方、視力障がいの方、認知症の方など、避難困難者に対してはどの様にお考えですか。

### 特別参与

避難困難者等につきましては、住民皆様方との避難訓練の中で、いろいろ検討させて頂いていただいているところです。バリアフリー化や、手摺等の設置につきましても、現在順次進めているところです。

### 議員

阪神淡路大震災では、広範囲の火災で炎を伴う風、火災旋風が発生し、大きな被害になったそうです。その火災原因の中に、停電復旧後に通電された時に、配線の漏電等で発生する家屋火災もありました。今後、懸念されますこのような、電気火災を防ぐ為に、自動的に電気ブレーカーを落とす等の取り組みについてどの様にお考えですか。

総務担当理事

震災直後に火災が発生しなかった地域であったとしても、通電後に電気ストーブ、鑑賞魚用のヒーターなど地震により傷んだ配線からの出火が原因と思われる火災が相次いだと言われていることから、今後は、各地域の防災訓練などでも、出火防止対策について、住民の皆様にも周知してまいりたいと考えております。

### 議員

装置や設備を改造するとなると多額の費用が掛かりますが、防災グッズを家庭のブレーカーに設置し、震度5から7ほどの設定ができ、振動があった時にブレーカーを落とす、これを防災訓練でPRし

## ふるさと納税

### 議員

「ふるさと納税」の創設から5年が経過しましたが、紀宝町が受け取られた税は、昨年何件ですか。

### 税務住民課長

現在のところ、2件11万円です。



ていただき、また、助成していただく取り組みについてのお考えはでしょうか。

### 特別参与

有効な手段については、PRしていく必要があると思います。行政として、助成については、まだ検討しておりません。

### 議員

災害救助犬ネットワークとの協力体制と、必要性についてはどの様にお考えですか。

### 総務担当理事

本町においては、現在のところ応援協定は締結させていたいただいておりません。三重県が災害救助犬ネットワークなど5団体と災害時における出動に関する協定を締結しており、必要となった場合、紀宝町から三重県に応援を求め、各団体に出動要請が行われる事となります。

### 町長

災害の状況によって、対応していく必要があると思いませんし、災害救助犬の必要性についても強く感じているところです。



## 県道危険箇所

### 議員

桐原側より阪松原センターまでの約100m間で道路幅が狭く、見通しも悪いので、過去にも、何度か事故が発生しており、一歩間違えば人命にもかかわるような状況だと思えます。この坂道でもある危険箇所の対策はどの様にお考えですか。

### 産業建設課長

## 堆積土砂対策と維持

現道拡幅案では、家屋移転が必要で移転補償に築造年数が経過していること等から地権者が望む補償費に対応できないとの結論に至っております。今後は、県道紀宝川瀬線の他事業箇所との調整もあるので、三重県と対策検討を進めてまいりたいと考えております。

### 議員

堆積土砂を撤去していただいた、相野谷川の現状を維持するためにどの様にお考えですか。

### 産業建設課長

国からも、この河川環境を維持し、必要な治水対策を行い、安全で美しい相野谷川を維持していくと、伺っております。また県では、河川の堆積土砂撤去について、河川管理上重要と認識しており、緊急度の高い箇所より計画的に撤去していく予定と伺っております。町としまして、相野谷川の治水対策等の維持管理を引き続きしっかりと行なっていくと期待するところにも連携を密に、治水対策を進めてまいります。県では昨年度から大里親水公園付近で治水対策の一環として、砂利採取を活用し、堆積土砂の撤去などいろんな取り組みを進めていただいているところです。

## 限界集落地域の取り組み

### 議員

過疎化などで、人口の50%

が65歳以上の高齢者になり冠婚葬祭など社会的共同生活の維持が困難になった集落を限界集落、地域と言われております。支援状況はどの様になっておりますか。

### 企画調整課長

本年2月末現在、町総人口11783人のうち65歳以上が人口3643人となっております。65歳以上の高齢者が人口の50%を超える地区として、浅里地区、北松枝地区、瀬原地区となっております。支援状況ですが、浅里地区住民、三重大学、三重県、町、が連携協力する中で、集落支援モデルの構築事業を外部の視点を取り入れながら、地域資源の再発掘を行いますとともに、地区住民自身が集落の現状と、課題を見つめ直し、自立・持続可能な地域社会の形成を目指し事業を進めてまいります。町としても、限界集落と定義されます、集落の維持・再生・活力ある集落構築を図るスタートと位置づけ、この浅里地区をモデルに共に勉強・検討を行い、他の地区にも波及し、役立てられるよう取り組んでまいります。



大前 森重 議員

- ・大綱説明について
- ・防災対策について
- ・人工リーフと津波について

## 大綱説明

### 議員

町長大綱説明において、三期目にあたって、今後四年間の町づくりは、高速道路の南進を活かした産業の振興と雇用拡大の推進と所信表明があります。高速道路については、町長をはじめ関係各位の皆様大変なご尽力により早く進んでいる状況であります。高速道路の開通を大きなチャンスと捉えて今後4年間は産業の振興・雇用の拡大を図り町の発展に力を注ぐ考え

だと理解しております。雇用の拡大については産業全般の振興があれば必然的に拡大が望めるので、今後の産業振興に向けてどのような具体策をお考えか伺います。

### 町長

産業の振興と雇用拡大対策は密接に関連があり本町の根幹に関する大きな課題と認識している。最近の雇用情勢は熊野所管内は有効求人倍率〇・八八と県内で二番目に低い。しかし紀宝バイパスの開通・熊野大泊ICから尾鷲ICの開通、さらに海山から紀伊長島ICも今月30日に開通、新宮紀宝道路が昨年事業化され当地域のインフラ整備が進んでいる状況で、また昨年の伊勢神宮式年遷宮や本年七月の世界遺産登録十周年と当地域の観光資源を活かした地域経済の浮上と雇用状況の改善に追い風が吹いている状況と捉えている。近畿自動車道紀勢線の整備後は、熊野市を起点として、交流圏域における人口は今までの約九十万年から約六百八十万人に増加し観光消費の増加等で年間約百十億円の影響効果と試算されている。本町の今後の取り組みと

しては、農業振興では高品質柑橘栽培に向けマルチシートの資材導入農家に補助。水稲では合鴨米やレンゲ米栽培農家に補助を行っていく。林業振興では基盤整備や森林環境保全直接支援及び森林環境創造事業を活用し間伐に積極的に取り組みたいと考えている。水産振興では産地水産業強化支援事業により、つき磯・藻場の整備・荷さばき場の改修等を行う。今後の農林水産業は高速道路の流通メリットを活かした販路の拡大により山の幸また海の幸と特産品の付加価値向上が図られ競争力のある商品作りできると期待している。商工業の振興では企業誘致また紀宝町商業活性化委員会が商業の活性化を効果的に推進するための検討。また中能登町等との物産交流を活発化させ地場産品の販路拡大に期待したい。雇用対策は東紀州地域で組織する東紀州地域雇用創造推進協議会と共に商品開発セミナーの開催や紀南地域就職相談会を開催する。また新たな産業の創出促進に向け企業活動や人材育成支援、産学官の連携協働により新産業の創出を促す

等県や商工会、学校、地元企業等の関係機関と連携し、取り組みたいと考えている。

### 議員

高速道路開通に向け地元産品を活かし、個性的な町づくりを目指すと考えているが、いかがですか。

### 町長

地域特性を活かした産業振興というブランド化をする事が一番大事だと思う。流通経路の早期整備を図りながら独自産業的なかたちに取り組みることが大事だと思う。体制作りは生産者と研究、また意見を頂くなかで行政として支援できる部分は支援しながら、今後の取り組みをしたいと思っている。

### 議員

地元の産物を支え、しっかりと支援を頂いて特性を活かした豊かな町作りを目指して頂きたい。町づくりは、官民一体で取り組む必要があり、新たな発想が必要だと考えるので、一点提案をさせていただきます。職員のなかにはいろんな発想を持っている方がいると思います。しかし提案の場がないのが現状だと思えます。職員には民間団体や住

民が協力して、町づくりに取り組まれている市町の事例の研修に職員を派遣して、発表できる場をつくり、職員間で議論を交わし職員の視点の転換を図っていくのが必要ではないかと思えます。是非、ご検討いただき、職員全員で町づくりに取り組める体制作りを提案させていただきます。

### 町長

支援また支えていく体制に取り組みなければならぬと思っており、積極的に各地に出向いて行ける体制も大事で前向きに取り組みたいです。

## 防災対策

### 議員

防災マップ作成には、本町と同一海岸を有する近隣市町と調整がされたのか伺います。

### 特別参与

防災マップ作成にあたり、南都市町・新宮市とは話をした経緯はなく各市町独自で作成した。



議員

新宮市で各戸に配布されている防災マップには市民に発信する情報が多く今後のマップ作成には参考にしていたいただきたい。二点目は、災害時の長期断水について原水を浄水場下熊野川より緊急的に取水できるように揚水ポンプを常備するお考えはないのか伺います。

環境衛生課長

緊急な場合は検討をしたい。

## 人工リーフと津波

議員

津波到来時の津波の変化とリーフの耐久性について伺います。

産業建設課長

人工リーフは高潮時の波浪を外力として、安定性計算を行っておりますが、津波による、押し波、戻り流れに対する被覆材等の安定性の確認は行われていないということでございます。また、現時点では津波の外力、流速等も定まっておりますので、津波に対する影響というものは分か

っておりません。

議員

東日本大津波の事象があるので、できるだけ想定を把握していただきたい。

産業建設課長

今後の課題として、情報収集に努めると共に情報提供に努めたいと考えております。



高垣 操男議員

・町長の政治姿勢について（防災対策）

## 防災対策

議員

自治体は大災害が発生した場合、的確な応急対策を進めつつ、優先すべき行政機能を

確保しなければならぬ。そのために対応システムや必要な準備、方針など、どのようになっているか。

特別参与

システム等の防御と対応についてですが、やはり最初に初期行動として一番迅速に必要なになってくるのは、住民情報、住民基本台帳等が考えられます。そのため、こういう情報等を確保するために、隣に防災拠点施設を整備させていただいたわけでございます。その4階にサーバー室も移転させていただきまして、情報等の安全性に努めておるところでございます。

議員

次に緊急時にどれだけの職員が確保できるか。いざ災害が起きたときに、これは阪神淡路大震災の発生当時、大団職員の41%が出動できなかったという。紀宝町においても百何十名と聞きますが、果たして、そのなかで、何人がその必要な業務に担当できるか。そして住民の生命・生活・財産いろんなものを守っていく重大なことがありますので、考え方がありましたらよろしくお願いします。

特別参与

やはり阪神淡路大震災のときも、今議員さんご指摘されましたように、職員の41%ということ、台風等と違って、地震のときにはやはり町民皆さんが被災者になる可能性があることが考えられます。そのため被害想定を立てて、やっております。やはりどれだけの被害がどうかということについては、非常に難しい状況でございます。そのため、町といたしまして

ました。職員の非常時参集訓練ということも実施させていただきました。そのなかで、やはり30分以内の登庁と。町内広うございますので、住宅の位置もございますけれども、やはり約半分ぐらいの職員が30分以内に登庁していただけという状況でございます。ですから本年もただそのときが非常参集訓練ということで、職員の招集だけでございましたけれども。今後はいろんな町内の被害想定をするなかで、例えば県道熊



野鶉殿線の田代地内で道路が決壊した場合にはどのような行動をとるかとか、いろんな想定をなかで、また職員の参集時間等も取りまとめたいというふうにご考えておるところでございます。

議員

もし何かで出勤できなかった場合、やはりその代理というか、ここでいわれておる全ての業務が担当できる職員の日常的な教育、訓練が必要ではないかと思う。その点よろしく願います。

特別参与

非常に難しい問題でございます。日常通常業務をしていただくなかで、例えば災害状況等であれば防災の仕事を皆さんが対応できる体制づくりということになれば、現在非常に皆さん日常業務のなかでお忙しいなかでご協力をいただくということになれば非常に時間もかかるのではないかと。しかし今議員さんがおっしゃっていただいたように、先程の答弁でもお話しさせていただきましたが、誰が被災者になるか分かりません。ですから、重点的なことについて

は職員皆さんが対応できるような体制づくりは必要ということと認識しております。今後そういうような訓練も取り入れていきたいと思っておりますので、よろしく願います。

議員

日頃から、やはり庁内で議論されるなかで、緊急時にどうしても機能の低下が起らないように最小限に食い止めるために検討を急いでいただいて、やはりどうということが起きてても万全とはいかないと思えますけれども、本当に速やかに行動できる体制だけは取っていたいただきたいと思っております。その点よろしく願います。

特別参与

やはりですね。速やかに行動取るといことは、非常に大事なことだと認識しております。それとやはり職員につきましても、災害の状況等によつては、それぞれ住んでいる地域地域で活動していただかなければならないということも考えられます。そのため以前から課長会議等通して職員にお願いをしております。おかげさまで町内も36の自主

防災組織を設立していただいております。そのため各地域においては地域に応じた防災訓練を実施していただいておりますところでございます。職員につきましても各々の地区において自主的に地区の自主防災訓練にも参加をしていただいて地域の実情を把握していただく。それで発災時に仮に登庁できない状況になっても地域の情報が速やかに本町に届くような体制づくりということも心がけておるところでございます。今後とも、やはり職員皆さんにもご協力をいただいで地域の実情等を把握していただくように日頃から心かけていただくことをお願いしております。

※その他、「学校防災研修会4回目を終えて」「地域包括ケアシステム」「臨時福祉給付金」についての質問がありました。



大石 洋 議員

## 行政改革

・行政改革について  
・マイターゲート設置について

議員

行政改革について等お訊ねいたします。一般に行政改革とは、行政組織の効率、経費の削減を目的とすることに主体性を重んじるところでございますが。今回特に近畿自動車道紀勢線道路において、新宮紀宝町間の河口大橋の事業化、また大泊、久生屋間6・7キロ間が内定とのことでございます。道路の構築によって、変化する社会情勢を考えたとき、地域と行政が一体と

なり、この紀宝町に來客をしていただき、経済の向上を考えるのは、一番大切な大事なことだと私は思いますが。町長のお考えをお聞きしたいと思います。

町長

お答えをさせていただきたいと思えます。私たちの地域にとりましては、待望の高速道路が、一步一步近づいてきているところでございます。平成25年の5月15日には、悲願でありました、熊野川の河口大橋を含む、一般国道42号新宮紀宝道路の事業化が決定をされ、さらに、本年2月25日には、熊野市大泊町から熊野市久生屋町を結ぶ6・7kmが一般国道42号の採択時評価に着手することが発表されました。皆さま方のご奮闘、ご協力ご支援のおかげで、全国新規道路事業化9路線のうち、高速道路関係は4路線。そのうちの2路線が、この紀伊半島のすさみ、串本間、熊野尾鷲道路というふうにお聞きをいたしておるところです。我々の思いが通じたのではないかなということ、大変喜んでおります。

議員

やっとこの紀伊半島のネットワークがですね。現実のものになってきたところで。私は小売業をやっておるわけでございますが、小売業に変革が大変、進みまして、店舗が少なくなってきたというような状態でございます。地域はもちろん行政と一体になっ

て、いかにこの紀宝町に、お金を落としていただける町づくりになければ、忘れさられてしまうんじゃないかというところが一番懸念するところでございます。

#### 町長

議員も生業は小売業されているということ。ご指摘のように、紀宝バイパスが開通をして、時代の流れと共に変化は、あるわけでございます。鵜殿地区の商業地域等についてですね。経営者の皆さんと一体となって取り組んでいく必要があるんだろうというふうにも思っておりますので。行政としてできる部分については、しっかりと支援をしながら、今後、高速道路の開通等に合わせ、紀宝町、特に商業の中心地であり、特に鵜殿商店街等についてもPRできるように努力してま

いりたいと思っております。

#### 議員

是非、地域の方も行政も一体になってですね。考えていただきたい。次に各担当課の全般的な人材育成の取り組みについてを伺いたいします。

#### 総務担当理事

地方自治体職員には自己決定や自己責任が求められ、また住民の皆さまからのニーズは高度化してきております。私たち職員一人ひとりが、常に高い意欲と目的意識を持って職務に取り組むとともに、住民の視点に立って考え、コスト意識を持って、効率的な財政運営を行うことが求められています。それらを実現するため、各職場における専門的な研修や、三重県市町総合事務組合における、研修などにより職員の意識改革を図っております。今後ともご指導をお願い申し上げます。

#### 議員

いろいろと人材育成について、職員一丸となって頑張っ

## マイターゲート

#### 議員

駅裏から鵜殿港につながるマイターゲートの整備についてをお訊ねいたします。

#### 産業建設課長

マイターゲートにつきましては、現在波浪の影響により扉の取り付け部分に故障があり、管理者である三重県において、復旧工事が発注されておりまして、今までの取り付け方法より、頑丈な形状に変更し、6月完成予定というふうに伺っております。

#### 議員

このマイターゲートについてはですね。大変トラブルが多いと。町長もこれ、何度か足を運んでいただいて、見ていただいておりますが、奥平島、駅裏住民約350世帯、810人とお聞きしております。大変住民が危機感をお持ちでございます。この南海トラフといった津波がきたときの対策を是非とも、万全な体制で、すぐ工法選んでですね。是非ともこれを実現してやって欲しいと思えますが。

#### 町長

法寿坊の中曾川のところから鵜殿港に至るコルケード管。マイターゲートが雨水・排水・津波等に対して大変懸念がされているということでございまして、重要承知をしているところでもございます。しっかりと取り組んでコルゲート管の流れのいい管に改良して進めていただくよう、県に対しても強くお願いをしております。津波等の災害に対して、機能しないと、800人余りの皆様方が被害を受ける。早急に強い思いをもって、県に対して要望をしたいと思いますというふうに思っております。完成し、そして地域の皆さま方に安心していただけるように、努力をしております。つもりでございますので、実施、実現に向けて、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

#### 議員

大変な答弁いただきました。ありがとうございます。コルゲート管について完璧なものにしないと。津波に備えた出口の対策を一日も早くお願いいたします。

#### 町長

コルゲート管も今補強等しておりますけれども。現実的には、大きな南海トラフが発生すれば大きな揺れというものも当然あるわけでございますので。管の補強と、出口のマイターゲート部分、これらはしっかりと運動しながら一体的に整備をして、議員ご指摘いただきましたように、紀宝町あげて、県等に要望をしたいと思いますというふうに思っております。

#### 議員

計画を立てて、是非、一日も早くよろしくお願い致します。





原 章三議員

・高校生医療費の助成制度について  
・農地中間管理機構について  
・獣害対策について  
他

## 高校生医療費の助成制度

議員

町長は高校生の医療費の助成制度をおこなっていくとされていますが、具体的な実施時期実施内容についてどうなっていますか。

町長

医療費の問題については、平成22年度には小学校卒業まで、平成25年度には中学校卒業まで無料化をおこなってきました。高校生医療費助成についての実施時期については現在検討段階で、出来るだけ早く

実施できるようにしたいと考えております。

議員

新3年生が受けられずに卒業とならないようお願いしたい。

町長

高校生の場合義務教育と違い同年齢の方でも働いておられる人もいます。そのような調整をしつつ年内にはできるだけ努力してまいります。

## 農地中間管理機構

議員

安部首相は、1月22日、スイスで開かれた世界経済フォーラム年次総会で、日本の農業について40年以上続いてきた減反政策を廃止する。民間企業が障壁なく農業に参入し、需給の人為的コントロールを抜きにします。このように演説をしています。平成26年度から農地の集積で農地中間管理機構を創設すると思いますが、そのメリット、デメリットはどのようなのですか。

産業建設課長

平成26年4月より、農地中間管理機構制度が開始されます。耕作者が不在の農地を借り上げ、適正な維持管理を行い借入希望者を公募で募るものがございます。財政的支援も離農の際、一回に限り30万円から70万円が支給されること。さらに地域集積協力金として10aあたり2万円から3万6千円が支給されることでございます。

議員

この制度のデメリットとして水田の借り手がなければ補助金が支払われない仕組みとなっております。

今後、高齢化、離農が進んでいくとなれば、メリットのある田とそうでない田の違いがはっきりして、耕作放棄地がさらに進むのではないかと。

産業建設課長

集積する農地によつては人気のあるところ、そうでないと当然出てくると思いま



す。今後、土地改良のすすんでいないところについては、国、県の考えを聞いてまいりたいと思っております。

## 獣害対策

議員

今年度から新たに狩猟免許取得者に対し、助成制度を図るとしているが、具体的な措置はどのようになるのですか。

産業建設課長

猟友会の会員数の維持、若年層の新規加入、後継者育成が大変重要であると考え、銃の狩猟免許取得者に対し、一定の助成をおこない、農作物被害低減、有害鳥獣捕獲への積極的な参加を求めていきたいと考えております。

議員

今、農家の方から、アラライグマによる被害が増え、その檻が少ないのではとの声も聞かれるが、どうなっていますか。

産業建設課長

小型獣の捕獲器については16器追加購入して利用いただく計画でございます

## 鮎田地区の 県道拡幅要望

議員

熊野川激特事業により掘削土砂搬出を採取業者が事業所に搬入していますが道路が非常に狭くて近隣住民からも安全対策、環境面からも意見が出されています。区の方では4年前から拡幅要望が提出されているが未だに放置されているのは何故ですか。

産業建設課長

紀宝川瀬線の拡幅につきましては区のほうからも要望をいただいています。町として



も改良要望をだし、県としては高岡地区の道路拡幅に伴い改良予定となっておりますので、プラント付近の拡幅については現在至っていないというところでございます。

## 生活保護法改定

議員

昨年、生活保護法改定により生活扶助費が平均6・5%、最大10%、総額670億円引き下げが8月から実施されたが町内の利用世帯数、人

員の推移についてお伺いします。

福祉課長

本町における影響額の一例では、50歳単身世帯で生活扶助額、6万3250円であったものが6万3150円になり、0・26%減となっております。人員の推移につきましては、26年3月1日現在で69世帯、86人、1年前では66世帯、85人です。生活扶助費が71万9千円の増、教育扶助費が9万5千円の減となっております。また単身世帯が8割。60歳以上が5割を占めている状況です。



平野 美津子 議員



- ・政治姿勢について
- ・住民の参加制度
- ・新宮紀宝道路について

## 住民の参加制度

議員

町長の政治姿勢については、町長の所信表明で報告されています。私がずっと言い続けてきた0歳児保育の時期を検討すると示されているので早い時期に実現していただきますようお願いいたします。これまで種を植え、芽を出し、幹を育てられたと報告いただきましたが、今後豊かな暮らしの花を咲かせ実を付けるためには、花を咲かせるためにも自然環境を整え、専門的

技術的知識及び経験等に基づく審議が必要と考えます。行政の意思決定過程とは、行政による基本計画、規則、要綱等の政策決定に至る過程に住民の参加制度が必要であると思います。総務省は、自治体におけるパブリックコメント（行政が政策の立案に当たり、趣旨や内容を公表し、その影響を及ぶ対象者などの意見を求め、政策決定に際してこれを考慮すること）について、2007年10月1日現在の制定団体数605団体ということ、32・4%あります。高速道路等も通る地域にもなっておりましたので、行政手法としての高度な手法を取り入れていき、また町内に住んでいらつしやる町民の皆さまの知識等を取り入れていくシステムづくりが今後必要ではないかと思いますが、町長の考えは。

町長

議員ご指摘のとおりでございます。まして、議員おっしゃるように、高度な検討そういった部分についても例えばPFIのときには、大学の先生方のご意見も拝聴し取り組みを進めてきたところです。これが

からも識見者、学識経験者、高度な知識を有する皆さま方のお力をいただく部分については、しっかりとお力をいただく機会をつくり、行政が高度になる中で、地域のみならずから信頼していただけるような行政の運営づくりに取り組んでいきたい。

議員

全国で3分の1の自治体が条例や要綱、規則等を作ってパブリックコメントや住民参加のできるシステム作りを行なっています。先ほども総務省が調べた結果についてのベさせていただきました。紀宝町におきましても将来を見据えたかたちでパブリックコメントを制度化していく必要があると思います。

町長

これから意思決定していく上において、町民の皆様方の思い、ご意見は十分に拝聴していくのは一番大事なことだと思います。パブリックコメントが地域全体の意見として繋がっているか疑問のところがある。パブリックコメントが全てであるとは私は考えておりません。皆さまが日ごろ考えておられる状況等をしっ

かり踏まえて取り組みを進めてまいりたいと思っております。

議員

住民の全ての思いを受け取れない部分もあるとは思いますが、行政を行なう上で感じ取らなければならぬこともあると思います。審議会や委員会を作ったときには一般公募も1・2人入れるシステム作りはいかがですか。

町長

平野議員の言っている公選的な部分については、議会の皆さんも公選で選ばれているわけでございます。また必要があれば、検討することもあるうかと思えます。

議員

議員は住民からすべてを託されているわけではありませ

## 新宮紀宝道路

議員

国と地方自治体は上から下に伝達するような姿勢が感じ

られるのですが、住民さんは憲法で言われる主人公だと思います。事業の進捗において合意が得られるまで延ばすという方向がありますか。

町長

言っている意味が分かりません。平成14年から熊野川に橋を架ける会の要望活動が始まりました。

十年余り要望活動を続けご案内のとおり事業化する前にパブリックコメントに近いかたちで地域の皆さまのご意見をいただいて、ルートについてもそこが妥当であるという多くの皆さまが賛同いただいた経過がございます。上からというかたちは、国土の幹線軸であります部分については、国の責務において実施していただくかなければならないかたちもあります。最大限の支援体制を構築することが一番大事というふうに思っています。それぞれの利害・地域の事情・個人的な事情があるわけです。地域発展の欠かせない社会資本であ



議員

リインフラ整備事業であるという認識を持っていただいて安全安心で生活のしやすい道を実現していくのが我々の務めではないかと思っております。国・県・町一体となつて理解していただくように努力していくことは忘れずにしっかりと進めてまいりたい。

企画調整課長

このアンケートは海側ルート・山側ルートには触れていません。

議員

民意がどれだけ反映されたのかお聞きしましたがはっきりと民意を理解することができませんが、交渉の中で十分に地権者等が納得いける話し合いを重ねていただきますようお願いいたします。

企画調整課長

アンケート調査の回収率は、住民配布部数は、5668部配布、回収部数588部10・4%。企業の配布部数20部、回収部数9部45%各種団体配布部数8部、回収部数6部75%です。

※その他、「いじめに対応する教育委員会の態度」についての質問がありました。



次回 平成26年6月17日より開催予定

# 議会を傍聴してみませんか？

紀宝町をより良い町にするための議論を交わしています。



議場の様子



議場傍聴席。40席用意しています。



本議会では、町民の皆さまの生活に関わる重要な問題について、熱い議論が交わされております。

本議会は議事の公開の原則により、会議中、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

町政への理解を深めていただくためにも、皆さまの傍聴をお待ちしております。

## ◆本議会開催場所

紀宝町役場 3階・議場

## ◆開催予定日時

平成26年6月17日  
午前9時より

## ◆傍聴の手続き

① 紀宝町役場庁舎内3階の議会事務局で受付を行ってください。

先着順にて受付いたします。  
※傍聴席は40席です。

② 議場の入退室は、会議中でも自由にできます。

## ◆注意事項

① 言論に対して拍手、その他の方法により可否を表明しないでください。

② 飲食または喫煙をしないでください。

③ 携帯電話の電源をお切りください。

④ 写真、ビデオで撮影したり、録音しないでください。

## ◆お問い合わせ

紀宝町議会事務局まで  
ご連絡ください。

☎ 0735-33-0342

## ■次回定例会の予定

6月17日（火）開会予定です。  
傍聴は議会事務局で受付ています。

## ■議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
  - ② 生涯学習センターまなびの郷
  - ③ 福祉センター（鶉殿）
  - ④ 保健センター（神内）
  - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

## ■インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、  
◎紀宝町ホームページ↓「町議会情報」↓  
「インターネット議会中継」をクリック

## 可決された議案（3月）

- 監査委員の選任同意  
・ 監査委員に小山益生さんの選任に同意しました。
- 教育委員会委員の任命同意  
・ 大岡春雄さん、西章さんの任命に同意しました。
- 紀宝町職員の再任用に関する条例の制定
- 紀宝町森と緑の県民税交付基金条例の制定
- 紀宝町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正（他3件）
- 紀宝町宮浄化槽整備推進事業契約書の改定
- 紀宝町高岡防災センターの指定管理者の指定
- 紀宝町町道路線の認定
- 平成25年度一般会計・特別会計（2会計）補正予算
- 平成26年度一般会計・特別会計（6会計）予算
- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めること  
・ 人権擁護委員に畦越進さんを推薦することに同意しました。
- 紀宝町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙
- 工事請負契約の変更（社会資本整備総合交付金事業 波静橋架替工事その2）

## 意見書（3月）

- 世界文化遺産 川の参詣道「熊野川」の景観保護を求め  
る意見書
- 災害時多目的船の導入を求める意見書
- 消費税の軽減税率の制度設計と導入時期の明確化を求め  
る意見書

## 編集後記

3期目の紀宝町政をおこなうに当たり、西田健町長は徹底した改革、教育の充実子育ての環境の実現、地域資源を生かした産業振興の推進住民福祉の向上と特別養護老人ホームの建設、河口大橋事業化、災害復興、防災対策の推進などの実現にむけて努力したいと表明した。一方、国内では4月から実施された消費税8%への増税、社会保障分野では、生活保護基準引き下げ、老人医療費2割に引き上げ、後期高齢者保険料の引き上げ、介護保険制度の見直し、年金2・5%引き下げなど。また対外的には、TPP交渉、集团的自衛権、日韓、日中問題も先行きが見えないなど、様々な不安要素が益々広がっている。蚊帳の外の出来事は済まされない。

（文責 原 章三）

「議会だより」（第30号）

編集委員 原 章三

的場 孝一

山本 精一